

# 白馬

はくば

# 議会だより

# 137号

熱中症・コロナ対策 初の春の運動会  
五月晴れ 全力で挑む子どもたち



## ■ 村政を問う 一般質問 ..... 6p

- ・村の小中学校いじめ認知件数は ..... 7p
- ・景観行政団体への移行が遅れた理由は ..... 8p
- ・夏の成人式・帰省者への検査は可能か ..... 9p
- ・スノーハープの利活用の考えは ..... 10p
- ・SDGs 窓口や専任担当者設置を望むが ..... 11p
- ・生活支援策として1万円の商品券の支給は ..... 12p
- ・次の5年間での公共施設削減計画は ..... 13p
- ・有機農業の推進に対する考えは ..... 14p
- ・地区ごみ集積所の現状は ..... 15p
- ・コロナ禍で停滞した観光再生への施策は ..... 16p

## ■ 特集

新たな議員体制スタート ..... 2p  
コロナ禍を乗り越えるため 議会力を発揮します!

## ■ 常任委員会審議

新型コロナウイルスワクチン接種  
村内高齢者から順調に始まる ..... 4p  
120%プレミアム付き商品券  
1万1千円分を5千円で販売 ..... 5p

■ 総務社会委員会・産業経済委員会方針 ..... 17p

■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 ..... 18p

# コロナ禍を乗り越えるため 発揮します!

## 総務社会委員会

総務課・税務課・住民課・健康福祉課・教育委員会・議会事務局・会計室・選挙管理委員会・監査委員・他の委員会に属さない事項の審議。

松本・切久保・尾川・加藤(亮)・横川・太田



太田 伸子  
議長

議会運営について、村が抱える重要課題には、常任委員会の枠を超え議員全員が共通認識の上に立ち、自由闊達な議論の中から、時には行政に対し安易に妥協することなく課題解決のための政策提言が出来るよう努めてまいります。皆様方には絶大なご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

この度、五月の臨時会において、村議会議長に選任されました。身に余る光栄に存じますと共に、その責任の重大さを痛感しているところでございます。  
私共の先輩が築き上げた白馬村の歴史文化を尊び、さらに発展するよう誠心誠意努めてまいります。



松本 喜美人  
委員長

適時適切な政策提言と、財政運営及び成果等チェック



村民が未来に希望を持てる豊かな村を目指します。  
切久保 達也 副委員長



加藤 亮輔  
委員

温暖化対策で白馬を守り、福祉の増進で貧困と格差をなくそう。



尾川 耕  
委員

白馬の自然、住む環境を守る。そして、サステイナブルな白馬へ!

## 議会運営委員会(5人)

副議長・各常任委員長及び常任委員会から各1名選出し5名で構成。議会の運営に関する事項及び議会に関する条例、規則等を審議します。

太谷委員長・加藤(亮)副委員長・津滝・松本・丸山



横川 恒夫  
委員

若い人達と共に高齢者が安心して暮らせる村づくりを目指します。

## 前期委員会構成

### 産業経済委員会

観光課・農政課・建設課・上下水道課・農業委員会に関する事項の審議。

津滝・太谷・増井・加藤(ソ)・田中・丸山

# 新たな議員体制スタート 議会力を



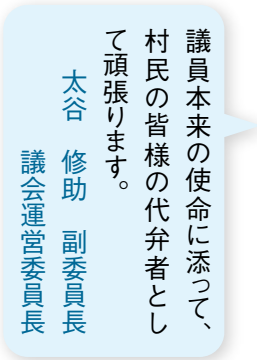
ウエルビーイングで、幸福感と活力のある持続可能な白馬へ。  
津滝 俊幸 委員長



丸山 勇太郎  
副議長

前期2年の副議長に選任されました。議会と行政は車の両輪に例えられますが、村をより良くするという方向性は同じでも、それは行政と常に同期して進むということではなく、議会は時にブレーキ役であり、時に尻をたたくターボチャージャーであると考えます。

今般のコロナ禍においては、立ち止まって足下の問題点を見直し、今だからこそ悪しき前例踏襲を絶ち、次代の計画をじっくりと練りつつ、次の飛躍のための力を蓄える時かと思っています。議長を補佐しながら、議会本来の役割を果たして参ります。ご支援よろしくお願致します。



議員本来の使命に添って、村民の皆様の代弁者として頑張ります。  
太谷 修助 副委員長  
議会運営委員長



住民の声を行政や議会にしっかりと伝え、課題解決に取り組みます。  
増井 春美 委員  
監査委員



議会を身近に感じてもらうようにしていきたい。  
加藤 ソフィー 委員



子育て・教育環境の充実に力を注ぎます。  
田中 麻乃 委員  
議会広報特別委員長



### 議会広報特別委員会(7人)

副議長及び、常任委員会から各3名選出し7名で構成。議会の動き、審議内容が解りやすい広報活動を行っています。

田中委員長・尾川副委員長・増井・横川・切久保・加藤(ソ)・丸山

# 新型コロナウイルスワクチン接種 村内高齢者から順調に始まる

## 総務社会委員会

●議案第23号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第2号)所管事項

歳入歳出それぞれ1億886万円を追加し、歳入歳出予算の総額を57億5186万円とするもの。

### 総務課

新型コロナウイルス感染症予防対策として、役場、避難所6ヶ所のトイレ水道蛇口88個の自動水栓化工事費435万6千円の増額。ウイング21避難所にエアマット50セット、折り畳みベッド60セット、個別間仕切り100セット購入費300万円のうち220万円の増額と、当初予算80万のうち76万3千円を地方創生臨時交付金への財源組換え。

国的に需要が多いため、工事完了は年度末を予定。

### 健康福祉課

社会福祉施設事業の962万2千円増額は、佐野区生活改善センターを、県の地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用し、介護予防拠点として新築。保健予防事業費100万円の増額は、コロナワクチン接種予約票とワクチン接種記録を合わせたシステム改修費。

**問** 新築工事の総事業費と工期は。補助金活用による使用方法は。

**答** 地区の自己資金を含めて2000万円を予定し、工期は年度内に竣工。介護予防、生活支援サービス事業等年間120日以上の利用が必要。

### 教育課

小学校、中学校の新型コロナウイルス感染症の予防対策として、トイレ、教室、ランチルールの水道

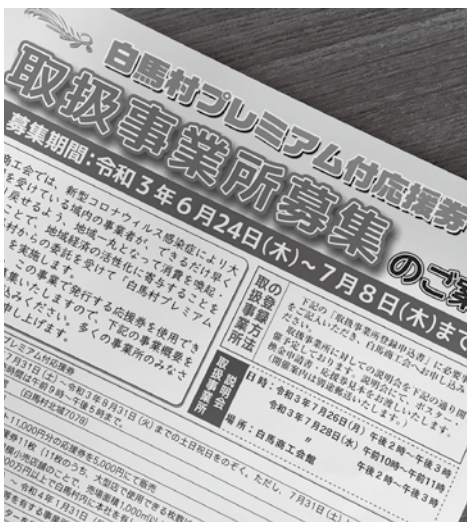
蛇口146個の自動水栓化工事費に911万8千円の増額。

### 子育て支援課

子育て世帯生活支援特別給付金事業885万円増額は、令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者、あるいは対象児童(18歳年度末までの子、障害児は20歳未満)の児童1人当たり一律5万円を給付。費用の給付金と事務費は全額国庫負担。しろうま保育園、子育て支援ルームの新型コロナウイルス感染症の予防対策として水道蛇口13個の自動水栓化工事費101万9千円の増額。

### 総務社会委員会採決結果

議案	採決	
議案第23号	可決	全員



7月31日から発売のプレミアム付き商品券  
取り扱い事業所の募集チラシ  
使用期間令和4年1月31日まで



20人に対応できる最新の  
検温・マスクセンサー



高齢者接種は順調に進む

# 120%プレミアム付き商品券 1万1千円分を5千円で販売

## 産業経済委員会

●議案第23号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第2号)所管事項

### 観光課

新型コロナウイルス感染症対策事業に7269万5千円増額。プレミアム付き商品券を発行し、地域内の消費の喚起と事業者支援に総事業費5782万4千円。季節的に従業員を雇用する村内事業者のPCR検査費用の補助に1千万円。村内観光事業所において感染者が発生した場合、行政検査の対象とならなかった者の迅速な一斉共通検査による早期の陽性確認と、事業所内の感染拡大を防止するために用いる抗原検査キットを、村での備蓄費用に300万円が主なもの。

**問** PCR検査補助は冬期対策を含めた費用か。また、検査費用を考慮した場合抗原検査の方を多くした方が良いのでは。柔軟性をもって対応してほしい。

**答** 抗原検査キットは3千セット購入し、冬期対策へも対応する。若年層の検査状況をみて抗原検査キットが効果的と判断した場合によっては、予算の組替えもある。

**問** 県外雇用限定となっているが、県内の感染まん延地域からの者へも対象としてはどうか。また、PCR検査費用は高額だが、いくらの補助となるか。

**答** 検査費用の1/2、上限1万円を事業所に補助する。県外者及び県内の感染拡大地域からの雇用者へも柔軟に要綱で考慮し、制定していく。

**問** プレミアム付き商品券について、業務委託先・販売期間・商品券の利用期限はいつまでか。

**答** 額面1万1千円の商品券を5千円で購入することができ、6千円のプレミアム付きであり、村民各一人あてに用意した。委託先は白馬商工会。7月31日・8月1日を集中販売日とする。使用期間は8月1日から来年の1月31日まで。村から購入引換券を各家庭へ発送するので、それを持参のうえ商品券が購入できる。

### 産業経済委員会採決結果

議案	採決	全員
議案第23号	可決	全員

## 令和3年第2回臨時会 議決結果

件名	議決結果
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	可決
白馬村監査委員の選任について	同意

## 6月定例会 議決結果

件名	議決結果
令和2年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
令和2年度白馬村一般会計事故繰越し繰越計算書について	
白馬村税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認
白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
令和2年度白馬村一般会計補正予算(第9号)の専決処分報告について	
令和2年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	
令和2年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告について	
令和2年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について	
令和2年度白馬村水道事業会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	
令和2年度下水道事業会計補正予算(第4号)の専決処分について	可決
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第2号)	

# 一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

# 村政を問う

安全で活力ある  
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

## 質問内容

- ・村の小中学校いじめ認知件数は…………… 7
- ・生活支援策として1万円の商品券の支給は … 12
- ・景観行政団体への移行が遅れた理由は…… 8
- ・次の5年間での公共施設削減計画は…… 13
- ・夏の成人式・帰省者への検査は可能か…… 9
- ・有機農業の推進に対する考えは…………… 14
- ・スノーハープの利活用の考えは…………… 10
- ・地区ごみ集積所の現状は…………… 15
- ・SDGs窓口や専任担当者設置を望むが … 11
- ・コロナ禍で停滞した観光再生への施策は… 16

## フォトニュース



6月定例会最終日  
北城南部ほ場整備 現地視察



田中 麻乃 議員

# 問 村の小中学校いじめ認知件数は

## 答 昨年度は小学校が36件、中学校が1件

【教育現場のいじめ】  
 昨年度発生した、いじめにより転校した児童の事案の経過は。

**問** 昨年の春頃から言葉などによるいじめがあった。学校では夏頃に保護者からの訴えにより認知。担任が授業等で取り上げて、みんなで話し合いや下校時には教員が見守り指導を行なってきた。

**問** 学校の対応は。

**答** 現在、学校では保護者会で概要を説明。全校集会では校長が人権に関する講話でこのことに触れ、児童会ではいじめをなくする週間を実施し、学校を挙げていじめの根絶に取り組んでいる。

**問** 教育委員会の対応は。

**答** 村全体の問題として取り上げ、3校の担当者が集まる人権教育研修会で情報を共有し、自校の教育活動に活かしていく。

**問** 転校した児童に対し、1年間かけて行なった教育委員会の対応は適切だったか。

**答** 不適切であったとは考えていない。ただ、

解決に至らなかったことは非常に残念だと思っている。

**問** 本村の認知件数をどのように受け止めているか。

**答** 文科省の報告書等だと大体1000人当たりで45.1件。村の場合、この調査の件数で換算すると75件あたりで、認知件数は多いと感じている。

**問** 年間の学校教育活動全体を通じて、いじめ防止に資する多様な取り組みが体系的計画的に行われるよう、学校のいじめ防止プログラムの策定等が必要では。

**答** 3校の校長教頭会で話題にしていきたい。

**問** 欠席連絡やお便り等の管理アプリの導入は十分検討していきたい

【GIGAスクール構想】

**問** デジタル教科書や指導教材やカリキュラムは、どのようなものを考えているか。また現状は。

**答** 本年度は小学校へのタブレットの導入がされた初年度であり、学校でもどのような授業を組み立てていくのか試行錯誤している。使いたいアプリなどの相談を受けており、その活用方法と導入のルールづくりをしている。

**問** 学校と教育委員会におけるGIGAスクール構想の管理・運用ポリシー及び評価のロードマップは。

**答** ハード面の整備は終了したが、管理・運営は追いついていないのが現状。教員、児童生徒に対するネットリテラシー、セキュリティポリシーなど運用に対してルールづくり、あわせて効果的なアプリの活用や導入の検討を進めている。

**問** 喬木村は小規模校の維持と、教育の環境と質の改善が必要との位置づけでICTの活用を主眼に行なっている。また宅地分譲、村営住宅を構え、教育移住を実現。ICT教育の推進は、都心と地方の教育格差をなくし、さらには移住定住につながるものだが、村の考えは。

**答** 先駆的な取り組みをしているところは、ぜひ参考にしたい。

1 喬木村がICT活用に取り組む理由

小規模校の統廃合問題

地域の声  
「地域の活力としての学校を存続させたい」

小規模校の課題  
「人間関係が固定化し、多様な考えに触れる機会が少ない」

次期学習指導要領が目指す教育の実現

- ・多様な他者との協働
- ・ICTの効果的な活用

変化の激しい未来を生き抜く力の育成

- ・生きて働く知識技能
- ・学び続ける力
- ・未知な課題への応用力

本村のような中山間地域においても、多様な他者の考えに触れ、協働し、新たな課題や価値を見出し解決していけるような、教育の環境と質の改善が必要

喬木村が取り組んだ魅力的な教育環境づくりのポイント			
Point 1	地方創生の施策に「教育」を位置づけ	Point 2	首長部局と教育委員会事務局の密な連携
Point 3	文部科学省事業への積極的な参加 ※1	Point 4	ふるさと納税の財源をICT機器整備に活用

※1 人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る高度事業  
 ※2 活用型教育アドバイザー（高橋真由）

県内でもICT教育最先端の喬木村。少子高齢化を迎え、小規模校の存続と教育の質と環境を向上させるには、ICT活用が必要不可欠だ。

# 問 景観行政団体への移行が遅れた理由は

## 答 県との綿密な連携が十分図れていなかった



太谷 修助 議員

【景観行政団体移行への進捗状況】

**問** 環境審議委員会が3回開催されているが、委員からの意見は良好な意見が出されているのか。

**答** 景観計画策定では、環境審議委員と兼務でお願いしている。委員同士、グループディスカッションの中で議論を深め、委員から活発な意見が出され、充実した会議運営となっている。ワークショップや学生のフィールドワークと合わせて、質の高い計画内容になることを願っている。

の総意によって進めていくことが大切。建築基準法に基づく建築協定や地域協定等の方法もあるので方策を検討したい。

の総意によって進めていくことが大切。建築基準法に基づく建築協定や地域協定等の方法もあるので方策を検討したい。

**問** エリアカラーや明度、彩度の取り決めはと

ても大切である。20年以上経過していることを踏まえ、根本的に変えることも視野に入れているのか。

**答** 時の流れの中で村民の色彩計画の「もてなしのしつらえ」を踏襲しながら、「この色でなければならぬ」ではなく「この色は避けるべき」という制度設計を策定委員会にはお諮りしたい。

**問** 外国人所有の施設が多く見受けられるが、建蔽率、容積率は今のままで良いのか。

**答** 都市計画法や建築基準法の中で、制御しなければならぬ。いずれも土地利用に関する私権の制限にも影響することから、区域内の地権者や地域住民

# 問 鳥獣被害の有効な対策は

## 答 3つの方法を組み合わせることが大切だ

【鳥獣被害対策の現状と課題】

**問** 昨年度の対策結果の評価は。

**答** 農作物被害は、昨年比ほぼ横ばい。電気柵設置や鳥獣被害対策実施隊の駆除効果があったと認識している。サル被害は増加傾向にあり、暖冬傾向で生き延びた個体が多かった。有害鳥獣の基本的対策は草刈り、藪刈り、電気柵設置、銃

等による駆除の3方法の組み合わせが大切。中でも草刈り、藪刈りは個人、自治会単位で実施できる基本的対策だが、里山に入る機会が減少傾向にある。人と有害鳥獣の棲み分けが出来なくなっている。里山所有者が状況を把握して対策を講じることが大切で、行政も里山と触れ合う機会を創出することが重要と考えている。

**問** 官民の協力が大切。鳥獣被害対策の情報交換の有効手段は。

**答** 村・県・国・猟友会・農業団体・住民代表等と被害防止対策を検討し、必要に応じて緊急的な対策を実施している。有効な手段はないが、地道に対応を組み合わせたい。

**問** 大町市のサル対策は、昨年大きな成果があったと聞くが、村の方針は。

**答** 今年度の新たな取り組みとして、サルに発信機を取り付けて、生息状況と群れの移動を把握して今後の対策に活用していきたい。



この素晴らしい山岳景観を壊すことなく、調和のとれた新たな村づくりが模索されている。緑豊かな田園風景も、そこにできる構築物によっては破壊にも匹敵する。





尾川 耕 議員

**問** 【新型コロナウイルス感染症対策】  
観光課の予算にある  
抗原検査キット及び

# 夏の成人式・帰省者への検査は可能か

## 答 庁内の調整の中で対応できる

PCR検査については、観光事業者対象としているが、夏休みに帰ってくる子ども達等に使えないか。

**答** 予算は観光費に盛っているが、庁内の調整の中で対応できると感じている。庁内の中で、その活用方法は、調整、検討したい。

**問** コロナ対策は、各課で分かれて考えるのではなく、横断的に対策を考えていくべき。コロナの問題は深い問題なので、少なくとも1人、コロナ専用の担当者を作るほうが良いのでは。

**答** 参事兼総務課長 各課に専門的な者を置くというケースと、また組織立って1つの室なりそういうものを置くというケースがある。村の職員数が、現状を満たしていない事実もあるので、専門的なスタッフを置くことは厳しい。

**問** 宿泊クーポンやアクティビティクーポンを作る時に、事業者にアンケートを取ったのか。

**答** 観光協会、宿泊ホテル事業者が集まっている協議会から、観光クーポン、経済対策の要望を受けて、役場と観光局で、精度を高めて事業化した。

**問** 私が宿の方にインタビューしたところ、小さな宿には、宿泊クーポンの割当が少なかった。泊まる予定であった「おなじみさん」に使うことがほとんどで、結果的には経済効果につながっていない、と聞いている。需要喚起につながったと思うか。

**答** 宿泊クーポンの参加348施設で、全部使った、使わなかった数字を調べた結果、全く利用しなかった 71件、全ては使えなかった 171件。数字的な結果と事業者の声を、次の事業に活かしたい。

**問** コロナのような緊急事態の中で、各事業者や、住民にどういった形でインタビューするのか。俊敏な動きができるようなシステム(インターネットなど)

を使った仕組みを構築する予定はあるか。

**答** 事業者の声を聞くのが、現状では難しいし、やるべきではないと考えている。

る。インターネットを使って、皆さんの意見、提案を聞くというような形はぜひ取っていききたいと思っている。

**子どもが“新型コロナ”に感染していないか チェック!!**

この夏休み～  
子どもたちが安心して  
白馬に帰省できるように  
PCR検査・抗原検査の  
費用補助の制度ができています!?

冬のアルバイト雇用時用に設定されたPCR検査等の補助費用を、白馬に帰省する人に対しても使えるよう提案した。行政の回答は、非常に前向きだと私は感じたが、さて如何に。

# 問 スノーハープの 利活用の考えは

## 答

施設の魅力アップと利用者の増加を図る



横川 恒夫 議員

# 【スノーハープの利活用】

## 問

現在の利用状況と過去3年くらいの利用状況は。

## 答

概算数値だが、平成30年度が夏は11000人、冬は30000人、令和元年度が夏は9800人、冬は5000人、冬が少ないのは近年まれにみる雪不足によるもの。令和2年度が夏は28000人、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、例年の3分の1の利用者数で、逆に冬は4100

## 問

ことを期待する。夏の利活用は。

## 答

サッカー、ローラースキーを主体にランニング、マウンテンバイク等のスポーツに利用し、合宿では県内外のサッカーが多い。またノルディック複合のナショナルトレーニングセンターの指定を受けているこの施設は、ローラースキーの合宿での利用も増加している。

# 問 危険な空き家の 実態把握と対策は

## 答

自分の財産は自分で  
処理するのが原則

# 【空き家対策】

## 問

村内の現状、空き家の数は。

## 答

村は各区長や別荘管理事務所にも協力をお

願いし、各地区の実体調査を実施。別荘等に不定期に訪れる方も大変多く、どのような物件を空き家と見なせば適切なのか、5年位訪れた形跡のない物件を対象とし、それに加え、地域として困っている物件を前提に調査を実施。各区の空き家を地図に記し、集落支援員による聞き込み調査も実施している。現在14件が台帳に記載されており、随時継続している。

## 問

危険だとはつきり分かる空き家の対策は。

## 答

法律において、特定の空き家に該当するが、空き家等の所有者等の責務が最も重要と考える。村では、環境の保全と景観形成に資する廃屋対策の一環として、廃屋対策事業補助金がある。これは行政区が行う廃屋の解体撤去事業に要する経費の一部を交付するもの。廃屋に進まないよう、自分の財産は自分で処理するのが原則。



スノーハープ ローラースキーを楽しむ人たち



切久保 達也 議員

**問** 【SDGsを意識した誘客施策】  
観光商品化が学習旅行誘致推進協議会で

# 問 SDGs 窓口や専任担当 設置を望むが

**答** 総務課企画係で受け、個別内容は各担当課に

プログラム化された。SDGsの村行政全体の取組や企業、個人事業者及び中学、高校の取組を広く紹介、体験するプログラムである。アウトドア体験が盛んな白馬村の雨天対策にも期待される。各課窓口がSDGs何番に取り組んでいるかの看板を表示する考えは。

**答** 表示看板を設置する予定はない。第5次総合計画後期計画の小分類に関係を示している。

**問** 文科省の学習指導要領には総合学習に取り入れられ、SDGsの担い手を育成するとある。今回の改正で注目されるのは、持続可能社会のつくり手の育成である。課外授業の教育旅行商品化が旅行会社より求められている。村がリードすべきでは。

**答** 学習旅行の協議会等で、何をフォーカスしていくのかを決めて、相談があればその仲介役には立つ。具体的になれば各課に案内し総務でも関わっていく。

**問** SDGs目標には環境や社会に貢献しつつ収益性を求める考えがある。企業は環境よりも経済優先の意識であった。最近では環境への投資が、評価に大きく関わっている。観光地に対する評価も大きな変化が起きていると考えるが、白馬としての考えは。

**答** 観光地としての競争力をこの先考えると環境対策は重要。真剣に取り組んでいるのが競争のポイントになり、選ばれる観光地になると考えている。

**問** 白馬高校の今年度の在校生数は

**答** 普通科75名、国際観光科88名、計163名

**問** 【白馬高校の現状】  
14年度に全校生徒147名となり県教

育委員会の基準を下回り、再編対象となり国際観光科を新設。17年度には200名を超えるまでに回復、今年で6年目を迎え再び減少したが減少した原因は。

**答** 地元中学生の生徒数の減少、またコロナ禍の影響から、高校や地域の取組を紹介する場が限られたことにより、魅力を伝え切れなかったことも要因。今年度は「地域みらい留学」に参加。全国40団体と共に地方創生推進交付金を活用した全国募集をし、高校と協力しながら魅力化に取り組む。

**問** 現在は中山間地存立校だが、中山間地存立特定校になった場合の考えは。

**答** 今は再編基準抵触を回避するため山麓事務組合高校支援係と連携していく。

**問** 村内にはスキー部出身者が多数いる。その人材を活かしスキー部を充実させていく考えは。

**答** OBが率先して盛り上げていく活動を山麓事務組合とは話し合っている。ぜひご協力いただきたい。



新しい出会いと学びを求める学生に  
白馬高校の魅力を発信  
全国からの募集に力を入れる

# 生活支援策として 1万円の商品券の支給は

## 額面1万1千円の商品券を 5千円で販売



加藤 亮輔 議員

別接種は5つの医療機関で実施、1日50名の計画。今後は、集団接種を180人、個別接種も最大72人対応できるように調整中。また土日に6回、最大320人規模の集団接種を計画。

### 【新型コロナウイルス対策】

**問** 5月28日及び6月9日現在のワクチン接種率は何か。

**答** 高齢者ワクチン接種希望者は2470人。この数字を基準で、5月28日時点の接種率は1回目が23.8%、2回目は0%。6月9日は1回目が43.2%、2回目が30.3%。

**問** 1週間で何人接種できるか。

**答** 集団接種は5月11日に始まり、週1、2回の計画。1回、150人。個

この販売方法が適正と判断した。

### 高齢者のみ世帯、うち一人暮らし高齢者は

540世帯、732人。  
一人暮らしは357人

### 【白馬村高齢者福祉計画】

**問** 村内で70歳以上の老々介護及び、施設に入所できない介護難民は何世帯、何人か。

**答** 村に資料はない。北ア広域連合の推計では378人。入所希望者は128人で、申請から1年以内に入所できる状況。

**問** 村内の75歳以上の高齢者のみ世帯、うち一人暮らし高齢者は何人か。

**答** 高齢者のみ世帯は、540世帯、732人。一人暮らしは357人。

**問** 高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画

では今後の高齢者人口は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる令和7年を照準に計画がつけられている。しかし、介護のピークは、計画書に収録されているアンケートを見ても、令和12年頃と考えられる。もう少し吟味しては。

**答** 人口推計については同意見だが、第8期介護計画、村の高齢者福祉計画も、令和3年度から5年度の3か年計画。

**問** 高齢者福祉計画では高齢者の生活を支えるサービス事業、健康づくり事業、介護予防事業等、30の事業を実施。これら事業の周知は。

**答** 村ホームページへ掲載のほか、民生委員・児童委員やケアマネ

ジャーからの情報提供。包括支援センターへの相談などから、必要な方に周知している。

**問** いろんな支援事業のあることを知らないのが現状。高齢者の方々に、計画、サービス内容、料金、問合せ先等、理解しやすい冊子を作り配布しては。

**答** 内部で検討する。



平成25年に小規模多機能型居宅介護サービス付き高齢者向け住宅(10戸)が大町市美麻大塩に開所。白馬近郊にも同施設の早い建設が望まれます。



丸山 勇太郎 議員

# 問 次の5年間での公共施設削減計画は

## 答 庄屋まるはちの譲渡と飯田教員住宅の解体

【公共施設再編整備計画】

**問** この計画は、歳入不足時代の財政健全化にとつてたいへん重要な計画でありながら、具体的に近く中身が薄い。第2期5年間の削減施設は。

**答** 「庄屋まるはち」の譲渡と、飯田教員住宅の解体を予定している。

**問** 学校のあり方検討と、山小屋のあり方検討はスピード感が感じられない。今年度結論は出るのか。

**答** 学校は、あり方検討委員会から11月頃答申を貰い総合教育会議で検討する。結論は令和4年度となる。山小屋は、頂上宿舎と天狗山荘は施設形態や規模の見直し。八方池山荘と猿倉荘は魅力化を検討する。これらは2030年度までには達成したい。

**問** 山小屋において、村が一番取組むべきは八方池山荘ではないか。

**答** 確かに立地的・利用的には一番好調な施設。観光課としても景観を活かした改修、周辺整備はしていきたい。

**問** 計画上コスト削減効果が一番大きいのは小学校。1校減は数字としては載っている。地域コミュニティへの気遣いの意味では存続が望ましいが、両

校とも築50年の校舎で2校建直しは無理。スピード感がないのはなぜか。

**答** 教育長 私人個人が慎重にやりたいがため。

**問** 図書館用地を土地開発公社で取得の考えは

**答** 公社による先行取得を実施する可能性はある。

**問** 土地開発公社の活用】最後に土地開発公社を使ったのはいつの

最後の事業か。

**答** 平成17年のしろうま保育園の用地取得が最後。

**問** それなら16年経つ。事業がないため毎年度の法人税支払いで預金を食っていて、それもと8年で無くなる。組織を維持するなら事業をすべき。図書館用地と子育て支援施設

用地の公社を使った先行取得の考えは。

**答** 公社による先行取得を実施する可能性はある。

**問** 駅案を止めた図書館は、現子育て支援ルームの場所としても村有地だけでは足りない。西側農地を公社で先行取得し、村民意見を聞きながら概略設計し村民の夢を繋ぐべき。用地交渉はしているのか。

**答** 以前に声がけはさせて貰っているが、公社利用はともかく今後用地交渉はしていきたい。

**問** 図書館が直ぐには出来ないとなると、子育て支援施設を複合化する意味合いを失う。むしろ喫緊性はこちらにある。複合化の基本方針を崩す考えは。単独でしろうま保育園付近に建てたらどうか。

**答** 村長 今までその方針で取り組んできたので踏襲したい。しかし、刻々と事情が変わってきているので、それらを勘案していきたい。保育園付近という話しは意見として受け止める。



現子育て支援ルームからの風景  
用地を先行取得して、図書館への希望の夢を繋ぐべき

# 有機農業の推進に対する考えは

## 問 周りの協力を得ながら進めた



加藤 ソフィー 議員

## 【有機農業の推進】

### 問 現状の村内の農家数及び耕作面積は。

### 答

農家数は、販売農家167戸、自給的農家271戸、計438戸。耕作面積は564ha。内、有機農家数は、有機JAS認証を受けている農家は1者のみで、耕作面積は水田約11a、園芸作物約1.2ha。

### 問

過去の一般質問において、有機農業を推進していくとの答弁があったが、その後の進捗状況は。

### 答

慣行・有機農法区別なく推進しているが、有機農業のソフト面の支援はまだ足りない部分がある。4月からの新たな人材の雇用や職員の勉強会への参加から、知見を深めていくと同時に、既に先進的な取り組みをしている方々の力を借りながら、農業分野の底上げをはかりたい。

有機農業に関する勉強会を開く予定は。

### 問

有機農業に関する勉強会を開く予定は。

### 答

農政課長 今後開催していきたい。

### 問

世界水準のリゾートとして、観光から見る有機農業やオーガニック食材の推進に対する考えは。

### 答

ネットワークを構築し、流通経路を確立させることができれば、健康や環境に優しいリゾート地として差別化がはかれるが、有機農産物であることの担保をどうするかが課題。持続可能な農業に取り組む地

域そのものが高い価値になり得ると考えている。

### 問

観光と食と農で連携をとってやっていることはあるか。

### 答

観光課長 今年からハクババレー・ツーリズム<sup>注1</sup>でガストロノミーツーリズム<sup>注2</sup>、小委員会を立ち上げた。

農政課長 かつては観光農政課というものがあつたが今はない。基本的なことだとは認識している。

### 問

白馬産米のブランド化に有機という方針を加えてみては。

### 答

農政課長 非常にいいことだと思っっている。

### 問

村としてこれからどのような農業を次世代に残していきたいのか。

### 答

第5次総合計画で、農地と森を守り地産を活かす村づくりを挙げている。計画の中の1つとして圃場整備事業を進めているが、米の需要は減少傾向にあり、野菜や果樹等の高収益作物への転換も重要。ま

た農林水産省が示した、みどりの食糧システム戦略については、除草管理や病害虫対策の技術革新が進むという前提で、有機農業取組面積を25%増という目標が挙げられている。村内の新たな圃場整備箇所で計算すると、100ha近い整備面積に対して、その内の25haが取り組み面積としての目標数値となる。加えて今年度より取り組む犬川の小水力発電事業で、農業部門の環境負荷軽減に貢献できればと考えている。

た農林水産省が示した、みどりの食糧システム戦略については、除草管理や病害虫対策の技術革新が進むという前提で、有機農業取組面積を25%増という目標が挙げられている。村内の新たな圃場整備箇所で計算すると、100ha近い整備面積に対して、その内の25haが取り組み面積としての目標数値となる。加えて今年度より取り組む犬川の小水力発電事業で、農業部門の環境負荷軽減に貢献できればと考えている。

### 問

地産地消の推進、ふれあい農場の運営、農作物を給食や直売所へ販売など。高齢化が進んでおり、若い世代の方も是非参加して欲しい。

### 答

地産地消の推進、ふれあい農場の運営、農作物を給食や直売所へ販売など。高齢化が進んでおり、若い世代の方も是非参加して欲しい。

### 問

公共調達の場である給食で積極的に有機農産物を仕入れていくことに関しての考えは。

### 答

教育課長 給食に安全、安心な地元産を使うという事はやぶさか

ではないが、給食の食材は非常にハードルが高く、まずは一般流通から数を増やし、規格や数量が安定してから給食で取り入れていくのがいいと考える。

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム



有機 JAS の取得を目指す村内のアスパラ農家。緑肥のために畝間でライ麦を育てている。

注1 白馬村、大町市、小谷村、北地区索道事業者協議会、各市村観光団体が一枚岩となつて設立した組織。

注2 地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズム



増井 春美 議員

# 問 地区ごみ集積所の現状は

## 答 守られていないのが現状である

**問** 【ごみ集積所の現状】  
地区集積所のごみ出しルール(日時)は、2地区を除いて守られていないが。

**答** 広報で「ごみ・リサイクル物分け方・出し方ガイドブック」全世帯配布、

**問** 設置条件は、6戸以上10〜15戸程度までの世帯で、設置場所のみが利用できる。設置場所は収集車の収集に支障がなく、除雪の対策を講じるなど条件を設けている。利用されて

集積所にごみ分別の掲示板収集日前日には防災無線により、搬入できるごみの種類と時間を広報しているが、ごみの出し方、分別が図られていないので、地区集積所での分別講習会の開催等で指導する。

**問** 地区集積所に事業系のリサイクル物(特に汚れたびん)が出されることが多いが。

**答** 事業系のごみやリサイクル物は、自己による広域連合施設への搬入の他、許可業者へ収集委託による処理が原則。燃えるごみ、燃えないごみも受け入れられているので、白馬リサイクルセンターへの情報を提供する。

**問** 小規模ステーションで除雪されないところが多く、月5、6袋の収集もあるが。

**答** 設置条件は、6戸以上10〜15戸程度までの世帯で、設置場所のみが利用できる。設置場所は収集車の収集に支障がなく、除雪の対策を講じるなど条件を設けている。利用されて

いるグループに改めて管理の徹底をお願いする。収集数の少ない集積所は、収集業者から連絡いただき、搬出するグループ代表者の了解をえて、状況で収集日の調整を行う。

**問** 地区集積所では分別されないごみが多く、衛生委員・収集業者の大きな負担では。

**答** 地区衛生委員・委託業者の負担については軽減が図れるよう周知徹底する。

**問** 行政からの地区衛生委員への支援は適当か。

**答** 今年は衛生委員へアンケートを実施して実態調査をしたいと考えている。

**問** ゴミ出し困難な高齢者への支援の考えはあるか。

**答** 要介護の方を対象に、介護保険を活用したホームヘルパーが行うごみ出し支援。要支援の方は、総合事業の訪問型サービスの一環でごみ出し、介護認定を受けていない高齢者は、

白馬社会福祉協議会のファミリーサポート事業でごみ出し支援を受けることが出来る。さらなる高齢化の進行に伴い、ごみ出し支援に対するニーズが高まっていくものと考えている。また、地域の支え合いによる支援も含み検討していく。

**問** 小規模ステーションが増加による収集経費の限度額は。

**答** 地区集積所を含む5ヶ所を増えた場合は、費用を追加する考え。今後の収集費用は、推移状況により判断。当面限度を設けるつもりはない。

**問** 白馬リサイクルセンターの利用を増やす

か。



リサイクル物集積所(分別されないごみの山)あと処理はだれが?

**問** 対策はあるか。

**答** 平日の午前9時から午後3時まで受け付けている施設。利用促進の広報については、広域連合と連携して対応していく。

**問** 子どもへの分別の啓発、教育はされているか。

**答** 小学4年生の社会科の授業では、「ごみ」について学ぶ学習時間があり、環境衛生担当が、ごみの分別学習を行っている。中学校では、道路清掃活動としてごみ集め、分別の回収を行った。また、SDGsサイクルが発足し、環境問題を取り扱う中で、ごみ問題を研究している。

# 問 コロナ禍で停滞した観光再生への施策は

## 答

具体的で実効性のある決定打は持っていない



津滝 俊幸 議員

【コロナ禍による観光施策と牽引していく観光組織】

**問** アフターコロナでの想定は。

**答** 感染症予防対策と環境対策が求められてくる。環境対策はゼロカーボンシティー宣言に基づく

具体的なアクションを進めて行く。また、状況を中止しながら需要喚起策も機動的に実施していきたい。

**問** 観光地経営計画、後期計画の運用は。

**答** 同経営会議において、情勢把握と情報共有

施策の進捗を管理していく。具体的な取り組みは年度末までにプランを提示する。

**問** 観光局、HVT<sup>注1</sup>、振興公社の役割と機能の違いは何か。

**答** 観光局とHVTは官民連携による地域観光の振興を図ることが目的。公社は村の公の施設の管理運営を主なものとし、行政運営に協力・補完・住民福祉の向上が事業方針となっている。観光局とHVTはどちらもDMO<sup>注2</sup>に登録されているが、その違いは、白馬のみの地域観光を観光局、広域観光(大町・白馬・小谷)をHVTがそれぞれ担い、両者がダブルでない活動をするよう運営している。

**問** DMO<sup>注2</sup>の見直しの必要はあるか。

**答** 現時点では必要ない。

**問** 山小屋運営検討会議の方向性は何か。

**答** 頂上宿舎の一部施設譲渡もしくは縮小の方向、その他は魅力ある施設になるよう検討していく。

**問** 観光関連組織の見直しを観光課の運営方針で掲げているが。

**答** 役割分担を整理したうえで、推進体制の見直し案を作成し提案する。方向性としては関係者と協力や連携を強化していく。

**問** 大系線の運行列車の削減がJR西日本から発表されたが、その対策は。

**答** 糸魚川市がJR西日本に問い合わせてこの大系線は対象外と確認された。

**問** 村長公約の魅力ある観光局への改革は進んだか。また、今後の課題は何か。

**答** 理事も含め、当事者である事業者が観光局を自分たちの組織であるという認識が乏しい。事務局と事業者の間の対話が不足

していることから距離感がある。専門委員会は事業者の声を反映させる重要な機関であるが、その機能が発揮されていない。専門委員会の活性化と機能向上を強く意識し、代表理事として改革を推進していく。

**問** 観光局の事務所について現在は仮の場所だが、大系線の活性化などを含め、玄関口である白馬駅前等へ移転しては。

**答** 直ちに移転はするのは無理。ランドステーション白馬ではインフォメーションへ来訪者が多く、その機能の重要性を実感している。今後検討していく。



コロナ禍による観光再生へ、牽引組織の代表格として白馬村観光局へ大きな期待をよせる！

注1 HVTはHAKUBAVALLEY TOURISMの略  
注2 DMOはDestination Management Organizationの略



総務社会委員会方針

## アフターコロナを見据えた、調査研究

コロナウイルス対策の一環として、ワクチン接種が進行中であり、ワクチンにより終息のきざしを期待するとともに、コロナ禍において新しい行政運営が求められます。

議会の立場で、行政課題と解決策を見出すための調査研究を行い、本年12月に政策提言を目指し実施したいと考えます。

本委員会では、調査項目について協議したとこ

ろ、①村有地・土地開発公社を活用した移住定住促進。②ふるさと納税(企業版含む)による財源確保と運用。③温暖化対策と環境保全。④少子化対策(行政運営と観光振興)。⑤白馬高校存続対策。5項目の提案がなされ全委員で検討の結果、本年度のテーマは上記の①と②に決定しました。

産業経済委員会方針

## 観光組織あり方研究会の立ち上げ

コロナ禍により、首都圏を中心とした緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置により、不要不急の外出が制限され、宿泊、飲食などはじめ、観光を中心とした村の経済が停滞し厳しい状況です。主に次の事柄に取り組み、活力ある持続可能な地域となるよう努めます。

村観光組織について、全議員参加による研究

会を立ち上げ、観光地経営計画・後期計画などアフターコロナにおける観光施策等調査し、あるべき観光牽引組織のあり方について提言します。まちづくりマスタープラン策定内容や景観計画策定内容について調査し、住みやすい村づくりを目指します。老朽化した上水道設備の更新と水道料金体系改正の調査研究を行います。

## 意見交換会について

村民との意見交換会は、村民の皆様と真摯に向き合える大切な機会として認識しています。秋以降、村内のコロナ感染状況等をみて、交換会開催の計画を考えています。詳細は決まり次第お知らせいたします。

### 令和2年度議長交際費一覧

支出日	支出内容	金額
9月3日	告別式 香典	10,000
9月7日	建設技監イブニングミーティング 会費(正副議長)	10,000
10月19日	告別式 香典	10,000
10月26日	弔電代	604
12月3日	告別式 香典	10,000
1月20日	告別式 生花	15,000

新体制で始動。  
よろしくお祈りします。



山岸新事務局長(右)と飯田主事(左)

### 議会だよりもマチイロ開始しました

スマホアプリで白馬議会だより配信中！！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



ご意見をお寄せください。85-0725(直通)72-7001(ファックス)

# 夢、私たちに。

## わたしのひとこと



### 三粒に種

大出 佐藤 栄太郎

一粒は空を飛ぶ鳥のために  
一粒は地の中の虫のために  
残りの一粒は人間のために

鳥や虫が生きられない環境の中で  
本当においしく安全な作物を作ること  
は出来ないという事を説いている  
ことわざです。

有機栽培には対を成す言葉で慣行  
栽培(化学肥料や農薬を使用する栽培  
方法)というものがあります。私の  
栽培方法も慣行栽培ですが不必要に  
農薬や化学肥料を使っていません。  
目指すところは有機栽培ですので、  
野菜の種類によっては有機栽培と同  
様な栽培をしています。農薬や化学  
肥料に頼るのは必要最低限。どちら  
が善でどちらが悪というわけではあ  
りません。利益ばかりを追い求めて  
環境や食の安全を脅かす野菜栽培で  
はなく、有機栽培と慣行栽培の良い  
ところ取りした「三粒に種」精神を胸に  
地域に根ざした農業をこの白馬村で  
取り組んでいきたいです。



### 引き継ぐということ

飯田 菊本 紋子

白馬村に移住し結婚。今、家族で宿  
泊業等いくつかの事業を営んでいま  
す。

ここ数年、私達の周りでは先代か  
ら若者への引継ぎが増えてきていま  
す。変化の激しいこの時代だからこ  
そ、若者の行動力が必要な時だと実  
感します。しかし、それと同時に、先  
代の方々への敬意とその仕事や歴史、  
なんといっても「心」は守り残さなく  
てはいけないと思っています。先代  
が走ってきた道のりを引き継ぎ、そ  
れをさらに加速させるべく知恵を出  
し時代に順応させていく。引き継ぐ  
事であること。徒競走ではなく、リ  
レーのようにチームになってバトン  
パスしていく。

白馬村が、観光地としても居住地  
としてもますます魅力を発信してい  
けるよう楽しく走り続けます。



### 白馬に来て夢が開けた

白馬町 田原 直哉

2011年に白馬に拠点を移し、岩岳  
の旅館で居候をしながら練習に励み、  
2018年長年の目標であった平昌オリ  
ンピックにエアリアル競技で出場し  
ました。遠征が多いスキー競技です  
が、白馬に住むことでGWまでスキー  
練習ができ、夏も深緑の中、さのさか  
ウォータージャンプ、秋は紅葉の中  
でフィジカル強化ができています。  
白馬に住んで10年が経ちますが、た  
くさんの友達やスキー関係者に良く  
していただき、居心地良く生活して  
います。また外国人観光客が増え、八  
方尾根や岩岳スキー場などを中心に  
アクティビティやレジャーなどさま  
ざまな開発が進み、食事も白馬なら  
ではの魅力あるお店が増え、白馬村  
が魅力ある村として発展している事  
を感じています。今後も楽しみです。  
コロナ禍で心配な事も多いですが、  
早く活気ある白馬に戻って欲しいと  
願っています。

## あ と が き

前期2年、議会広報特別委員  
会委員長を拝命いたしました。  
村民の皆様にとつて身近で、議  
会の内容を分かりやすくお伝  
えできるように、委員会メン  
バー一同努めて参ります。

改選前は、委員会名称が議会  
報調査編集特別委員会でした  
が、議会だよりだけではなく、  
HP含めた議会広報のあり方  
についても研究するため、議会  
広報特別委員会に改めました。  
HPやSNS、YouTubeな  
ど様々な方法を検討し、議会中  
継や情報の取得手段を増やす  
ことも考えていけたらと思っ  
ております。引き続き、ご意見  
など遠慮なくお寄せください。

(田中麻乃)

### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 太田 伸子 |
| 委員長  | 田中 麻乃 |
| 副委員長 | 尾川 耕  |
| 委員   | 増井 春美 |
| 〃    | 横川 恒夫 |
| 〃    | 加藤ソフィ |
| 〃    | 切久保達也 |
| 〃    | 丸山勇太郎 |

白馬議会だより 137号 令和3年7月31日発行  
発行 編集 印刷 長野県白馬村議会 議会広報特別委員会  
〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
http://www.villhakudajp/assembly/assembly.html E-mail gkai@villhakudajp